

令和7年5月22日理事会資料

第1号議案 令和6年度事業結果報告(案)

令和7年5月22日
一般社団法人日本音響材料協会

1. 継続事業(公益事業)

(1) 継-1 事業 (JIS 原案作成団体業務)

JIS A 6301 2019 年公示後のフォロー

(2) 継-2 事業 (機関誌発刊等の出版事業)

1) 機関誌「音響技術」通巻 206 号～209 号の発刊

- ・NO.206 号(令和6年6月発刊) : 令和6年1月15日編集会議
- ・NO.207 号(令和6年9月発刊) : 令和6年4月15日編集会議
- ・NO.208 号(令和6年12月発刊) : 令和6年7月16日編集会議
- ・NO.209 号(令和7年3月発刊) : 令和6年10月中旬編集会議

[編集委員] (任期: 令和5年4月～令和7年3月)

委員長 佐久間哲哉(東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻 教授)

委員

富田隆太(日本大学 建築学科 教授) 渡辺充敏((株)大林組) 富高 隆(大成建設㈱技術センター)

土屋裕造(戸田建設㈱ 技術研究所) 杉江 聡((一財)小林理学研究所)

箱崎文子(㈱永田音響設計) 星野 康(日本環境アミエティ㈱開発技術部) 事務局 猪脇章雄(日本音響材料協会)

↓

- ・NO.206 号(令和6年6月19日発刊) : 令和6年1月16日日編集会議
- ・NO.207 号(令和6年9月20日発刊) : 令和6年4月16日編集会議
- ・NO.208 号(令和6年12月18日発刊) : 令和6年7月16日編集会議
- ・NO.209 号(令和7年3月18日発刊) : 令和6年10月15日編集会議
- ・NO.210 号(令和7年6月発刊予定) : 令和7年1月14日編集会議

編集委員

令和7年度 渡辺充敏((株)大林組)⇒令和7年度より中川武彦(㈱竹中工務店技術研究所)交代予定

その他の方は、継続

2) 機関誌「音響技術」の新規購読会員の獲得

現状の購読会員数 237 名を 10 名新規の獲得。

方法: 先生、理事会メンバー、編集委員、執筆者、座談会参加者からの紹介で新規顧客を増やす。

非会員の講習会参加者への勧誘

謹呈者への勧誘

↓

理事長により協力会社様に依頼して新規で4件獲得

今年度も退会が多いため、歯止めが利かず減少傾向

- 3)「集合住宅のリフォームと音」の販売 講習会時に紹介

講習会で展示していたが、難しいのか購入につながらない

- 4) 講習会 web での取り扱い検討

外部に依頼すると費用がかさみすぎるので、費用対効果が見込めない

地方からの参加者がそんなに多くないので、ペンディング

2. その他事業(収益事業)

(1) 他-1 事業 (測定、検査等受託業務事業)

- 1) 音響材料及び建築物の音響性能調査、分析業務の受、委託の拡大

前年度のゼオン化成(株)様のように、理事会メンバー会社へ KI 音響研究室から提案
各社抱えている問題について、井上先生と相談の機会を設定。

↓

令和7年2月ゼオン化成 KI 音響研究室へパネ定数の試験依頼

- 2) 一般財団法人小林理研究所への測定依頼業務の拡大

受託業務拡大のために会員(正会員、研究・賛助会員、購読会員)に 5%引きメリットを知らしめる
毎年小林理研の研究所の見学会実施を検討

↓

令和7年3月ゼオン化成 小林理研へ音響透過損失試験依頼

- 3) 新規入会時【音響技術】会員の頁に PR 原稿の掲載を条件に賛助会員へ勧誘

先生の紹介、理事会社の協力会を通じて勧誘

↓

ピアリビング:井上先生の執筆本で当協会を知り、正会員へ入会

エーアンドエーマテリアル:井上先生に勧誘をお願いして賛助会員へ入会

他-2 事業 (講習会開催事業)

WEB での実施も検討

- 1) 技術講習会開催 1回 : (令和6年11月28日) ⇒参加者 40名

- 2) 音響基礎講習会 1回 : (令和6年7月24日) ⇒参加者 45名

- 3) 勉強会 0回 : (令和6年未定)⇒未実施

- 4) 見学会 1回 : (令和6年9月12日、大成建設技術センター)⇒参加者 28名

3. 次期役員について

(1)次期理事、監事候補

農野昇一副理事長が理事長に、田中英明監事が副理事長に、山梨忠志理事長は理事に
三木良明理事が監事にその他の方は、重任

↓

佐治理事 12 月末辞任のため、2 月 18 日法務局に登記済み
三和裕一氏が理事候補へ

4. 事務局運営体制の検討の推進

- ・業務改善のため、1 日/週のアルバイトを採用
- ・「音響技術」の発送のシステム化

↓

アテナシールのエクセル化

請求書の新書式 エクセル化

5. 会議、定例行事

- (1) 定時総会 令和 6 年 5 月 23 日(木) (於：日本ガラス工業センタービル B1 会議室)
- (2) 理事会 3 回 令和 6 年 5 月 23 日(木)、11 月 9 日(木)、令和 7 年 3 月 21 日(金)

一般社団法人日本音響材料協会

令和 6 年度 第 76 回定時総会議事録

日 時 令和 6 年 5 月 23 日 (木) 15:00～15:40
場 所 日本ガラス工業センタービル B1 会議室
東京都新宿区百人町 3-21-16

出席正会員

旭ファイバーグラス(株) ゼオン化成(株) 大建工業(株) 日本音響エンジニアリング(株) 日本環境
アメニティ(株) パラマウント硝子工業(株) マグ・イゾベール(株)
吉野石膏(株) 小山雅功 (個人会員)
＜議長へ委任状提出＞アコス工業(株) 日本ソーラトン(株) ピンチブロック(株)
ヤクモ(株)

総正会員数 13 会員

出席正会員数 13 会員 (出席 9 正会員、議長への委任状 4 正会員)

出席理事 井上勝夫(理事・学識経験者個人) 猪脇章雄 (専務理事)

配布資料

- ・令和 6 年度第 76 回一般社団法人日本音響材料協会定時総会資料 (議案書)

開会、議長選出

定刻、猪脇専務理事より開会が宣せられ、当協会定款 第 15 条第 2 項により、山梨忠志理事長を議長
に選出した。

次いで開会に当って理事長より挨拶が述べられた。

総会の有効性の宣言

議長の指名により、専務理事から出席者の報告がなされ、9 正会員の出席と議長への委任状提出 4 正会員があり、定款第 17 条により本定時総会での全ての決議が有効であることが宣せられた。次いで議長は、議事録署名人に議長の他、田中英明、一色伸悟、猪脇章雄専務理事を指名し議事に入った。

[報告事項]

令和 6 年度事業計画と予算について

議長の指名により、専務理事から議案書の報告書に基づき、3 月度理事会で審議、決済した令和 6 年度の事業計画及び予算について説明があり、全員異議無く、報告を承認した。

[審議事項]

第 1 号議案

「令和 5 年度事業報告の件」

第 2 号議案

「令和 5 年度会計報告及び監査報告の件」

議長は第 1 号議案及び第 2 号議案の両議案について、関連があり一括審議とするとした。議長の指名により、専務理事から議案書に基づき事業結果と決算内容の詳細説明がなされた。その後、監事を代表して田中英明監事より会計監査並びに業務監査について、決算報告書は決算の状況を正しく示していると共に業務運営の状況を正しく示しているものと認めると共に理事の職務執行に関し、不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められないとの報告があった。議長は議決を求め全員異議無く、第 1 号議案及び第 2 号議案を原案通り可決、承認した。

第 3 号議案

「令和 6 年度理事選任の件」

専務理事より令和 5 年度第 3 回定時理事会で承認を得た理事候補を紹介した。

任期は令和 6 年 5 月総会より令和 8 年 5 月総会までの 2 年間

農野昇一氏（大建工業（株）音響製品部 部長）

佐治 猛氏（マグ・イゾベール（株）営業部 担当部長）

田中英明氏（パラマウント硝子工業（株）営業本部業務推進部部長）

菅 優行氏（旭ファイバーグラス（株）上級執行役員 湘南工場長）

長谷川知哉氏（吉野石膏（株）取締役 商品開発部長）

山梨忠志氏（日本音響エンジニアリング（株）代表取締役 社長）

井上勝夫先生（日本大学 名誉教授 学識経験者・個人）

小山雅功氏（個人）、猪脇章雄氏（個人、日本音響材料協会 常勤専務理事）

議長は一人ひとりの議決を求め全員異議無く、第 3 号議案を原案通り可決、承認した。

第 4 号議案

「令和 6 年度監事選任の件」

次に専務理事より令和 5 年度第 3 回定時理事会で承認を得た監事候補を紹介した。

任期は令和 6 年 5 月総会より令和 8 年 5 月総会までの 2 年間

一色伸悟氏（日本環境アメニティ（株）代表取締役社長）

三木良明氏（ゼオン化成（株）技術部）

議長は一人ひとりの議決を求め全員異議無く、第 4 号議案を原案通り可決、承認した。

全議事を終了し議長は閉会を宣した。

以上

一般社団法人日本音響材料協会

令和 6 年度 第 1 回定時理事会議事録

日 時 令和 6 年 5 月 23 日（木） 15：40～17：00

場 所 日本ガラス工業センタービル B1 会議室
東京都新宿区百人町 3-21-16

出席者 (敬称略)

理事 農野 昇一（大建工業(株)） 佐治 猛（マグ・イゾベール(株)）

田中 英明（パラマウント硝子工業(株)）

菅 優行（旭ファイバーグラス（株）） 長谷川知哉（吉野石膏(株)）

山梨 忠志（日本音響エンジニアリング(株)）

井上 勝夫（（学識経験者・個人））

小山 雅功（個人正会員） 猪脇 章雄（専務理事）

監事 一色 伸悟（日本環境アメニティ(株)） 三木 良明（ゼオン化成(株)）

欠席者 なし

〔役員総数〕 理事 9 名、監事 2 名

〔出席役員〕 理事 9 名、監事 2 名

〔欠席役員〕 理事 0 名

開会、議長選出

事務局より開会が宣せられ、議長には当協会定款第 27 条第 5 項により山梨忠志理事長が選出され就任した。

有効性の確認と議事録署名人指名

山梨忠志理事長が議長に着任し、出席者の報告が事務局よりなされ、理事 9 名の出席があり定款第 30 条、第 1 項により本理事会での全ての決議が有効であることが宣せられた。議長は、議事録署名人に議長のほか、一色伸悟監事、三木良明監事、猪脇章雄専務理事を指名し議事に入った。

議事事項

(1) 第 1 議案

「役職理事選任の件」

議長は議題の説明を求め、専務理事から令和5年度から理事長、副理事長、専務理事の役職について説明があった。

令和6年度から理事長、副理事長、専務理事の役職については下記の通り提案された。

令和6年度 理事長：農野 昇一、副理事長：佐治 猛、田中英明

専務理事：猪脇章雄

議長は、場に質問及び意見を求めたが特に無く、全員異議無く提案通り承認、決議した。

(2) 第2議案その他

「著作権規定について」

法務部で検討した案を審議したが、最終確認が必要とのことで、次回となった。

最後に専務理事より今後の日程について説明があった。

議長は、その他の議題提議または意見を求めたが特に無く、全議事を終了し閉会を宣した。

以上

令和6年度 一般社団法人日本音響材料協会

第2回定時理事会議事録

日 時：令和6年11月7日(木) 15:00～16:40

場 所：八重洲倶楽部第5会議室（東京都中央区八重洲2-1 八重洲地下街地下2階）

出席者 (敬称略)

理事 農野 昇一（大建工業(株)） 佐治 猛（マグ・イゾベール(株)）
田中 英明（パラマウント硝子工業(株)） 菅 優行（旭ファイバーグラス(株)）
山梨 忠志（日本音響エンジニアリング(株)）
井上 勝夫（学識経験者・個人） 小山 雅功（個人正会員） 猪脇 章雄（個人）

監事 一色 伸悟（日本環境アメニティ(株)） 三木 良明（ゼオン化成(株)）

オブザーバー 三和 裕一（マグ・イゾベール(株) マーケティング部長）

〔役員総数〕 理事9名、監事2名

〔出席役員〕 理事8名、監事2名

〔欠席理事〕 長谷川知哉（吉野石膏(株)）

開会、議長選出

事務局より開会の辞が述べられ、議長選任について当協会定款第27条第3項により農野理事長を議長とするとした。

有効性の確認と議事録署名人指名

農野理事長が議長に着任し、出席者の報告が事務局よりなされ、理事8名の出席があり定款第

30 条、第 1 項により本理事会での全ての決議が有効であることが宣せられた。議長は、議事録署名人に議長のほか、一色 伸悟監事、三木 良明監事、並びに猪脇 章雄専務理事を指名し議事に入った。

議事事項

第 1 号議題

「令和 6 年度中間業務報告及び会計見通し報告の件」

議長より担当者に報告を求め、専務理事より中間期の業務報告及び上期決算と下期見通しについての報告があり、全員より一括にて承認を得た。

説明内容

収入面では、機関誌「音響技術」の購読会員は、理事長の紹介で 4 社入会したものの減少が止まらず、更なる新規会員の獲得が急務。受委託では、ゼオン化成の物件はあるものの、インボイス未登録の関係で協会は関わらず。

法人会計では、8 月より正会員として(株)ピアリビングが入会し、入会金 10 万円と月割りで計算した年会費 20 万円、また広告も 208 号より半ページをいただいた。

管理面では、業務改善のためにアルバイトの採用を見込んでいたが、運営委員会の協力を得て、どうにか改善の見込みが立ち 48 万円の削減を図る。令和 7 年 1 月の賀詞交歓会は、有料化することで費用の削減を図る。最終決算見込については、令和 6 年度の収支ゼロを見込む。

第 2 号議題「理事候補について」

現在副理事長のマグ・イゾベール株式会社 佐治 猛 様が、令和 6 年 12 月末に退職のため辞任。理事候補として、マグ・イゾベール株式会社 マーケティング部長 三和 裕一 様、期間：令和 7 年 5 月 23 日～1 年間令和 8 年 5 月総会までとの提案に対して、理事会より空白期間が長過ぎるため、臨時総会を開催して理事就任を急ぐべきとの意見があり、早急に対応を検討する。

第 3 号議題「その他」

1. 「日本音響材料協会の著作権規定について」

日本音響学会の著作権規定をベースに大建工業(株)法務部で審査いただいたものを提示し、この日を持って正式に承認された。

2. 「令和 7 年 1 月日本音響材料協会賀詞交歓会について」

1 月 21 日（火）17 時～19 時アルカディアにて賀詞交歓会を開催予定。

昨年度は、理事メンバーよりコロナ禍がまだ収束していないとのご意見もあり、中止となったが、以前より費用が掛かり過ぎるとの話もあり、運営委員会で議論を重ねた結果、今回から有料の開催にさせていただくことで承認された。

案内文には、協会の厳しさを盛り込んだ案内文を出すこととした。

3. 「技術講習会の開催について」（平田委員、岡本委員担当）

日時：2024 年（令和 6 年）11 月 25 日 10:00～17:00（9:30 開場）

会場：大建工業株式会社 3F セミナールーム

東京都千代田区外神田三丁目 12 番 8 号 住友不動産秋葉原ビル

参加者定員 50 名に対して、申込者が少ないので、理事会社に参加者を要望した。

4. 「日本音響材料協会日程の確認」

理事会 令和 7 年 3 月 21 日(金) 15 時～17 時 場所：八重洲倶楽部

総会・理事会 令和 7 年 5 月 22 日(木) 15 時～17 時 場所：当協会 B1 会議室

議長は、その他の議題提議または意見を求めたが特に無く、全議事を終了し閉会を宣した。

以上

令和 6 年度 一般社団法人日本音響材料協会

第 3 回定時理事会議事録

日 時：令和 7 年 3 月 21 日(金) 15:00 ～16:15

場 所：〒169-0073 東京都新宿区百人町 3-21-16

日本ガラス工業センタービル B1 D 会議室

出席者 (敬称略)

理事 農野 昇一(大建工業(株)) 田中 英明(パラマウント硝子工業(株))

菅 優行(旭ファイバーグラス(株)) 長谷川知哉(吉野石膏(株))

山梨 忠志(日本音響エンジニアリング(株)) 猪脇 章雄(個人)

監事 一色 伸悟(日本環境アメニティ(株)) 三木 良明(ゼオン化成(株))

オブザーバー 三和 裕一(マグ・イゾベール(株))

欠席者 井上 勝夫(学識経験者・個人) 小山 雅功(個人正会員)

[役員総数] 理事 8 名、監事 2 名

[出席役員] 理事 6 名、監事 2 名

開会、議長選出

事務局より開会の辞が述べられ、議長は当協会定款第 27 条、第 3 項により理事長が就任した。

有効性の確認と議事録署名人指名

農野理事長が議長に着任し、出席者の報告が事務局よりなされ、理事 6 名の出席があり定款第 30 条、第 1 項により本理事会での全ての決議が有効であることが宣せられた。議長は、議事録署名人に議長のほか、一色伸悟監事、三木良明監事並びに猪脇章雄専務理事を指名し議事に入った。

議事事項

(1) 第 1 号議題

「令和 6 年度決算(推定)(案)報告(総会議案書として検討、承認)の件」

議長の指名により、専務理事より「令和 6 年度事業報告(案)」、「令和 6 年度決算見込(案)」

「令和 6 年決算報告書(正味財産増減見通し)(案)」について説明がなされ、全員異議なく報告を原案通り承認、決議し、令和 7 年度定時総会の議案として提議することとした。

(2) 第 2 号議題

「令和7年度事業計画（案）と令和7年度予算（案）の承認について」

専務理事より「令和7年度事業計画（案）」について説明した。

続いて「令和7年度予算（案）」について説明した。

議長は、場に質問及び意見を求めたが特に無く、全員異議無く提案通り可決した。

（3）第3号議題

「令和7年（第77回）定時総会議案書（案）承認及び第1回理事会開催について」

専務理事より「令和7年定時総会議案書（案）」を説明し、その後「第1回定時理事会招集（案）」について、説明した。

議長は、場に質問及び意見を求めたが特に無く、全員異議無く提案通り可決した。

（4）第4号議題

「令和6年度役員候補承認について」

専務理事より資料6の「令和7年度一般社団法人日本音響材料協会役員候補（案）」を説明した。

令和7年度定時総会において選任する理事候補として

三和裕一氏（マグ・イゾベール（株）マーケティング部長）

山梨忠志理事（日本音響エンジニアリング（株）辞任に伴い

山下晃一氏（日本音響エンジニアリング（株）取締役 企画部 部長）

議長は候補者名と所属について読み上げ、一人ずつ承認を求め、全員承認された。

上記の理事候補者を令和7年度定時総会の議案として選任の提議をすることとした。

（5）第5号議題 「その他」

①賀詞交歓会の有料化に伴う効果について

参加者は、正会員29名、一般28名合計57名+8名運営委員で予算の100名には届かず。

執筆者の大学、ゼネコンにメールで参加を呼び掛けたが少なく、今後の賀詞交歓会の課題となった。

予算上は▲80万円に対して、実績は▲20万円と差額60万円の有料化の効果はあった。

②見学会の開催先について

現状奥村組つくば研究所で話が進んでいるが、11/13大建工業岡山（音の研究所）の開所式後、協会で見学会を開催したらどうかとの申し出をいただき、今後運営委員会で検討する。

③購読会員の増加策

令和7年度の事業計画で、大学建築学部環境関係の先生、工業技術センター等にPRとあるが、そんなに施設はあるのかとの質問に対して、運営委員会で調査検討することとした。

「日本音響材料協会・総会、理事会、委員会の日程」

専務理事より「令和7年度の日程について（案）」報告

議長は、その他の議題提議または意見を求めたが特に無く、全議事を終了し閉会を宣した。以上

議事録作成者 猪脇 章雄（専務理事）

（3）賀詞交歓会 令和7年1月21日（火）（於：アルカディア市ヶ谷）

（4）運営委員会 各月（於：日本ガラス工業センタービル2F 協会内会議室&リモート）

毎月1回会合↓

年間工程表をベースに各担当の進捗を管理